

労働者協同組合法
成立記念作品

人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。

11/16, 17 開催 第6回全国地域おこし名人・達人サミット in 桶川・北本プライベート

中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは！

11/1(金)①10:00 ②18:30 レイボックホール 市民会館おおみや 7階小ホール

医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

写真・映像提供◎ペンワール会/PMs

企画・提供◎日本労働者協同組合(ワーカーズユニオン)連合会センター事業団

一般社団法人 日本社会連帯機構

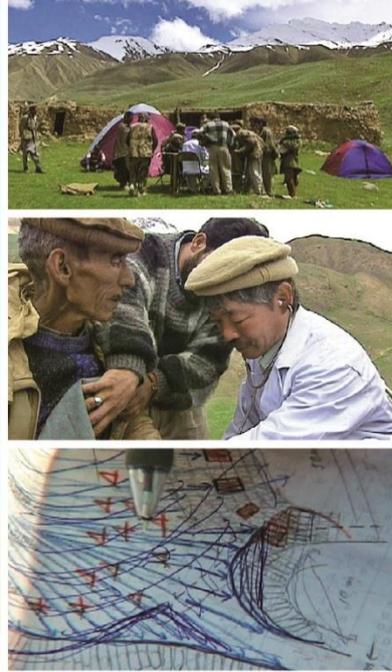
製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分





医師中村哲の
仕事・働く
ということ

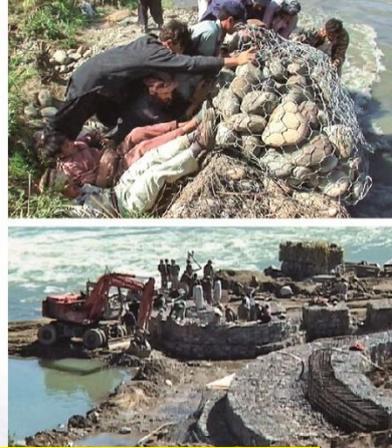
アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。



1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は「現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと」である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。中村医師は言う「これは人間の仕事である」



11/1(金) ①10:00 ②18:30 レイボックホール 7階小ホール

会場:レイボックホール(市民会館おおみや):大宮駅東口から徒歩5分

30分前より受付/開場 参加費:一般1,000円(大学生・障がい者500円、高校生以下無料)

【事前申込制なし】当日、先着各300名まで入場できます!

上映(47分)後、本作企画者によるアフタートーク等の企画あり 

「今、地域で何が必要か!中村哲医師の仕事が今、私たちに問いかけること」

第6回全国地域おこし名人・達人サミット in 桶川・北本開催

～福祉×農×地域のまちづくりにふれる2日間～

おけきたサミット

埋もれがちな地域の宝である名人・達人を再発見し、その取り組みに光を当て、地域活性化や町おこしの新たな可能性を模索します。 詳細はHP(“おけきたサミット“で検索)⇒

11月16日(土)-17日(日)

会場:桶川市民ホール、北本市文化センター、他

16(土)藻谷浩介氏(左写真、里山資本主義・日本総研首席研究員)全体会基調講演

17(日)鈴木宣弘氏(農業経済学)ビデオ出演、島村菜津氏(ノンフィクション作家)出演

他、分散会フィールドワーク、展示・体験コーナーも



(問) ☎090-4749-2705 ワーカーズコープ・日本社会連帯機構 受付時間:平日10:00~17:00

主催:一般社団法人 日本社会連帯機構

*11/8(金)池袋でも上映します

協力:第6回地域おこし名人・達人サミット in 桶川・北本実行委員会

14:00~ 18:00~

ワーカーズコープセンター事業団さいたま事業本部

先着申込制(50名)

後援:さいたま市

詳細&申し込みは⇒

